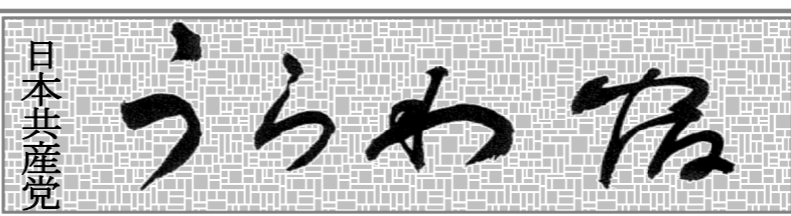


(3面より)
「十八史略」や「大学中庸」などを学び感銘していました。どうしてこのような中国と戦争をするんだろうとは思っていましたが、疑問はあったのだと思います。戦後の仕事は親の運送会社をついで、弟に譲って私は教育委員会で「教育月報」の編集の仕事をして、再び運送会社に復帰し、運送

だけでなく割烹を始めたりとさまざまな仕事をしてきました。趣味は読書で、特に歴史が好きです。今でも「世界」を昭和29年から読んでいます。
共産党の活動に参加しもっとも忘れられないのは、赤旗の日刊紙を埼玉県で初めて貨物自動車による輸送を開始したことです。これには、県委員会や中央委員会から

も感謝されていますし、私の誇りでもあります。最盛時は、埼玉県だけでなく、東京、茨城なども範囲でした。
それにしても共謀罪を通した安倍政権は軍隊の復活を感じ、絶対にいけません。浦和に住んでいた時の隣人に、憲兵にやられた人がいますから、すぐそのことを思い出すのです。(おわり)



日本共産党浦和区後援会ニュース
2017年8月号・No.74
浦和区北浦和3-14-16
TEL/FAX 048-833-4515
***** (部内資料) *****

2017平和のための埼玉の戦争展 過去と向き合い平和・友好の未来をさぐる

憲法施行70年 多彩な企画

2017年7月7日は人類にとって輝かしい歴史的な日となりました。核兵器禁止条約が初めて国連会議で採択されたのです。参加国124のうち122か国の賛同を得ての採択でした。

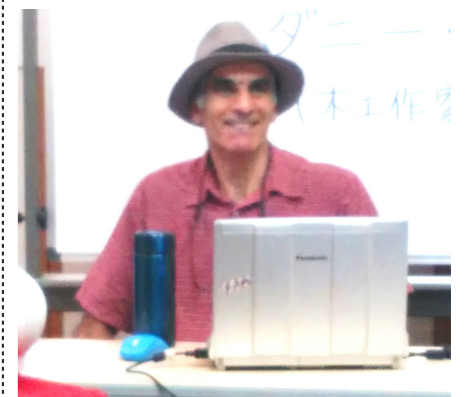
日本をめぐる状況はどうか。日本は唯一の被爆国でありながら、今回の交渉会議に参加しませんでした。そして、国内では安倍内閣の下で「憲法9条改定」の動きが加速されています。今年で34回目になる「平和のための埼玉の戦争展」は7月29日から3日間、コルソ7階ホール(JR浦和駅西口)で開催され、多くの資料の展示がされました。また、4人の方の講演がありました。

このうちダニー・ネフセタイさんの講演の一部を紹介します。

国のために死ぬのはすばらしい?

いまだに先の見えない対立が続くパレスチナとイスラエル。イスラエルはアメリカの全面的支援のもと圧倒的な軍事力をもって、パレスチナ人を支配してきました。ダニー・ネフセタイさんは1957年にイスラエルで生まれ、高校卒業後、徴兵制によってイスラエル国防軍に入隊。3年間、空軍に所属。退役後来日。日本滞在は今年で35年、秩父で家具職人をしています。

ネフセタイさんはまず、イスラエルの学校では、卒業生で戦死した人の名前が校庭の顕彰碑に刻まれ、戦争で使った大砲や空軍機が置かれ、毎日、国のために死ぬという意識が植え付けられている。これは日本でも同じ。安倍首相は日本を取り戻すと言い、日本の軍隊の誇りを復活させようとしている。そして、ナチス・ドイツによるアウシュヴィッツでのユダヤ人の大量虐殺に触れ、「ナチス政権の手口を学んだらどうかね(麻生副総理)と恐ろしい発言する大臣まで出てきた。日本の右傾化がすすめられていると警告。戦争法の強行の時、安倍内閣は「自然災害に備えるのと同じように他の国からの攻撃に備える必要がある」



熱演のダニー・ネフセタイさん

と言った。しかし、自然災害と戦争は違う。戦争は対話で止められると強調しました。

普通の人間は戦争を望んでいるか?

続いて、ヘルマン・ゲーリング(ナチスの空軍総司令官)の言葉を紹介「もちろん普通の人間は戦争を望まないが、国民を戦争に参加させるのは簡単なことだ。攻撃されつつあると言い、愛国心に欠けている平和主義者が、国民を危険にさらしていると非難すればいいことだ」と国全体が軍国主義化に向かっていくことの恐ろしさを紹介。日本でも原発再稼働、秘密保護法、集団的自衛権の閣議決定、安保法制、共謀罪。全部同じ方向に行っていて、どんどん右傾化していると指摘しました。

(2面につづく)

うらわ宿文芸

うらわだより

米大統領メディアと対立
マスコミとの付き合い方とコントロール
方法教えます
——安倍晋三首相
(前地 さびる)

政治家の資質
ウソとゴマカシがうまいこと
——新国語辞典
(岸町 佐久間純)

川柳
疑惑には三猿決め込むアベ軍団
秘蔵ツ子はウソつき通しヒラに落ち
(前地 さびる)

俳句
アベノミクススタメノミクスとささやかれ
完全に与党化した維新の会
ボロボロでカタガタ揺れる安倍政権
(岸町 だん吉)

枝豆を色良く茹でて夫(つま)を待つ
日々猛暑台風地震におののきぬ
風鈴のただゆらゆらと空を飛ぶかな
(前地 S・M)
ゆで卵こつんケルンの角借りて
突風の中や歩荷の(ほっか)の仁王たち
雪深や風に冷やされ喉ほけけ
(本太一 Y・Y)

耳より情報

◆埼玉平和美術展

核兵器廃絶、平和の壁に花一輪を
8月15日(火)~20日(日)10時~ 無料
県立近代美術館・地下展示室(北浦和)

◆オール浦和区の会駅頭宣伝

8月24日(木)17時~18時
浦和駅東口パルコ前

◆映画上映会「標的の島一風かたか」

8月31日(木) ①10:30~②14:00~③18:30~
さいたま芸術劇場映像ホール
前売り入場券1000円、当日1200円
連絡先:048-822-7428(埼玉映画文化協会)

◆「九条俳句」裁判勝利市民のつどい

9月6日(水)18時半~
武蔵浦和コミュニティセンター多目的ホール
ゲストスピーカー 森達也氏(映画監督・作家)
資料代 500円

◆市民大学習会「安倍首相の改憲に立ち向かう」

講師 渡辺治氏(一橋大名誉教授、九条の会事務局長)
9月14日(木)18時半~(開場18時)
埼玉会館小ホール
主催:埼玉憲法会議 参加費:無料

日々想

フジテレビの「うらわだより」は今年二月の金曜日から始まって、七月で六回目。効果はいかほどか疑問で、『まやか』に聞こえる。政府の旗振りどおりに時間早めに終業することをテレビで放映して浦和駅周辺でも帰宅を急ぐミニ集団があった。昨今はまばらだ。プレシ金の設定日が月末と労働者にとって多忙な日時と重なったからである。月一度の家庭団欒、居酒屋談議、そんな程度で良かったのではないか。政府は来年一月頃コーンに類似した「モツブウィーク」と称する九連休を検討中だ。有給休暇の七〇%取得促進、長時間労働の是正、過労死の撲滅等と課題は山積しており、健全な労働力の創出に期待したい。(幹)



(1面より) 日本国憲法は素晴らしい

支配層は日本国憲法の3原則が邪魔。声が上げられないような国づくりがすすめられている。日本国憲法を読んで日本に来てよかったと思った。なぜナチスの人はあんなに人を殺したのか。殺した人に質問すると、まず「立場上、個人的な意見を言えない」と言い、

さらに質問すると、「国策です」と答えるだろう。今の日本政府の答弁も一緒だ。現在の日本では戦争反対と叫ばないと、賛成と見做される、と警告。

戦争と核のない世界を 人権が守られる世界を

ネフセタイさんは最後に、これからは、物づくりとして、次世代

も使える家具を作る。次世代も住める地球をつくりたい。社会活動家としてがんばりたい。と述べ、参加者から大きな熱い拍手を受けました。(編集部 阿久津)



窓の窓 バンザイ！稲田防衛大臣辞任



国民平和進行される

7月24日(月)13時より北浦和駅西口から、さいたま市役所まで、恒例の原水爆禁止国民平和進行が行われました。暑さにも負けず50名以上の方が参加しました。



自民党の沢田力(つとむ)県議の1千万円を超える政務活動費不正流用が発覚し、自民党を離党、辞任したことに伴う県議補欠選挙です。日本共産党からは、民青同盟県副委員長、党埼玉県委員の竹腰連氏(たけこし れん)25歳を予定候補として決定し、去る7月28日記者会見を行いました。さいたま市の県議定数は、10選挙区で14名です。内訳は、自民党10、民進党4で、共産党の議席はありません。見沼区の自民党議員をはじめ、日本会議派の議員が多数を占めています。今回の県議補選では、上田県知事の秘書、清水市長の政策秘書をつとめた無所属(3回目)、民進党(新)、共産党の竹腰連(新)、さらに無所属(新)が、すでに政策宣伝

埼玉南5区(大宮区) 県議補選で必ず勝利を！ 8月18日告示・27日投票

さいたま市議会議員 とのつみ敏行

を開始しています。自民党には候補の大義がありませんが、自民党から分裂した自民真政の団長は、3回目の挑戦となる無所属候補で戦うと言っているそうです。政令市であるさいたま市では、共産党の県議が空白となっています。野党共闘の声もありますが、民進党は、県政でも市政でも自民、公明と一体となった与党です。国政でも地方でも、自民党と正面から対決する日本共産党の竹腰連氏の勝利こそ、野党共闘を本格的に進めていく最大の力です。東京都議選、仙台市長選挙に続いて、この県議補選で勝利して、埼玉から「安倍やめろ」の審判を下しましょう。みなさんのお力添えをお願いいたします。

感動を呼んだ「子どもの成長」と絵本・物語」講演会



前回の「うらわ宿」でご案内させて頂いた「子どもの成長と絵本・物語」(講師・斎藤惇夫氏)の講演会が、会場いっぱい、100名超の参加者で大盛況に終わりました。参加者の9割が女性。遠くは静岡からいらっしやうった方も。始まる前からあちこちで談笑が見られ、和やかな雰囲気で開催しました。斎藤氏は冒頭、「三代にわたる読み継がれてきた本」は、子

ども達にとつての普遍的な面白さを持つており、そうした本を是非読んであげて欲しいと強調。さらに、ノルウェーやフィンランドのエピソードも紹介しながら、「10歳までは読んであげることが『読書』である」ことに言及。読んであげることで、子ども達は本の中の主人公になりきって様々な体験をすることができ、こうした「体験」は、その子の一生に深い影響を与えることになること、ご自身の子どもの頃も振り返りながら話されました。

まるまる二時間の講演時間も、あっという間。斎藤氏のお話、会場からは時折大爆笑も起きたり、涙ぐむ方もいたり。参加された皆さんに、強い感動を呼び起こした講演会となりました。私の所にも「また斎藤さんの講演会を是非企画して欲しい」との声も寄せられていますので、積極的に検討したいと思います。その際には、より広い皆様のご参加をお願い致します。(子どもの本の散歩道 吉田雅人)

吉田雅人

今年92歳の浦和区元町在住の小宮孝さんに、終戦前後のことや戦後共産党機関紙赤旗の輸送の仕事などを先駆けてスタートさせてきた話などをお聞きしました。2時間に及ぶお話の一端をご紹介します。(文責 編集部古澤)



思い出を語る小宮孝さん

愛国少年から情報兵に、終戦を機に共産党へ

私は、大正14年2月、東京日本橋浜町明治座の近くで生まれました。昭和20年の終戦が20歳の時ですからわかりやすいです。関東大震災で焼き出され、親戚筋を頼って函館に行きます。日本橋に住んでいたという記録や凶面もなく戻れません。ひどいものです。その後やはり親戚筋で縁のあった浦和に住むようになりました。本太小学校、浦和商業、日大予科に進みました。

このことは今、初めて言うので

8月終戦の月に初めて語る

すが、徴兵は予科の時本籍地の日本橋で受けます。学力試験のようなものがあって、当時としては珍しい「情報兵」という部隊に配属となり、九州博多まで行って指示を待ちました。(おそらく今思うと中野学校と同じような特殊機関と思われる)しかし実際に戦地

に行く前に事情により2週間くらいで除隊になったのです。当時は私も殆どの人と同じく愛国少年でしたから、拍子抜けし、どの面下げて帰れるのかと憤慨したのを覚えています。その後は、鐘淵工場で軍用の工場勤務となり、そこで終戦を迎えます。玉音放送は工場で聞かれましたが、戦争を続けるのかやめるとかがはっきりしていなかったのを覚えています。というのは、工場に来ていた将校たちが、敗戦を認めていず、軽機関銃を並べて体制を整えようとしていました。玉音放送を邪魔していたのですね。

戦後は波瀾万丈なるも、一貫して共産党の活動に参加

政府にはすっかり騙されていたという思いです。ただ、浦和商業の漢文の先生に素晴らしい方がいて、(4面につづく)